

自民総務会

村上氏「改憲が筋」

最後は全会一致で了承

自民党の村上誠一郎元行政改革担当相は1日の党総務会で、集団的自衛権の行

使を可能とする憲法解釈変更の閣議決定案について「憲法改正が筋だ。解釈変

更は認められない。将来の自民党に鉄槌が下る恐ろしさを感じる」と反対を表明した。

野田聖子総務会長が出席議員一人一人に発言を求めたところ、村上氏以外からも憲法改正を求める声が上が

がった。だが、憲法解釈変更に賛成する意見が上回ったため、野田氏は「圧倒的な大多数の賛成だった。総務会長判断で了承とした」と宣言。その際、村上氏が「反対」との声を上げなかったため、野田氏はその後の記者会見で「全会一致とみなした」と語った。

一方、石破茂幹事長は1日の記者会見で、集団的自衛権の行使容認について「国民のさまざまな懸念にどう応えるかが極めて重要だ。自民党は長い間議論してきたので、一般の人の意識との間に乖離があるのは事実だ。閣議決定をしたとしても、これから先が重要だ」と強調した。「党の地方組織に説明する機会をなるべく早く設けたい。街頭でも積極的かつ丁寧に説明したい」とも述べた。